Folladorスパークリングワイン世界選手権で金メダル2個を獲得

2025年のRuiol CasteiとTorri di Credazzo Prosecco Superiore DOCGが、2026年コンテストで栄誉に輝いた。

2026年9月15日（火）



イタリアのConegliano Valdobbiadene地域のCol San Martinoを拠点とするスパークリングワイン生産者Folladordal 1769は火曜日、Champagne & Sparkling Wine World Championships 2026で金メダルを2個獲得し、さらにDoctor Wine’s Essential Guide to Italian Wines 2027にも選出されたと発表した。

同社によると、国際コンペティションで金メダルを獲得したのは、Ruiol Castei Valdobbiadene Prosecco Superiore DOCG 2025とTorri di Credazzo Cru Valdobbiadene Prosecco Superiore DOCG 2025の2本。3本目のNani dei Berti Rive di Col San Martino Valdobbiadene Prosecco Superiore DOCG 2025は銅メダルを受賞した。

受賞は、スパークリングワインに特化し、英国のワインライターであるTom Stevensonが創設したコンペティション、Champagne & Sparkling Wine World Championships、通称CSWWCの2026年版の一環として発表された。同社によると、審査委員にはStevenson、Master of WineのEssi Avellan、ワイン評論家George Markusが含まれていた。CSWWCの授賞式は10月29日、ロンドンのMerchant Taylors’ Hallで行われる予定。

同時に発表された内容で、Folladorはイタリアのワイン評論家Daniele Cernilliが編集するDoctor Wine’s Essential Guide to Italian Winesの2027年版にも掲載されたと述べた。このガイドは、業界関係者、コレクター、消費者向けにイタリアの生産者やボトルを評価・選定する、広く注目される年次出版物の一つである。

この相次ぐ評価により、同ワイナリーは、国際的なスパークリングワインコンペティションと、イタリア市場で強い存在感を持つ国内ガイドという、異なるが影響力のある2つの場で可視性を得た。Proseccoカテゴリーの生産者にとって、こうした結果は、特にイタリアのスパークリングワイン間の競争が依然として激しい輸出市場において、輸入業者、販売代理店、レストランバイヤーに対するポジショニングを後押しする材料になりうる。

Folladorは、イタリア北東部のConegliano Valdobbiadene Prosecco Superiore DOCG地区の丘陵地帯にある村、Col San Martinoに拠点を置く。この地域は、ユネスコの世界遺産として認定されたより広範な景観の一部でもある。同社によれば、ワイン造りの歴史は1769年にさかのぼり、現在は兄弟姉妹のMichele、Cristina、Emanuela、Francesca Folladorが経営している。

発表に合わせて出された声明で、Cristina Folladorは、今回の受賞は同社の取り組みと、イタリア国内外における同社のワインのアイデンティティを重要な形で裏付けるものだと述べた。また、今回の結果が、家族として研究への投資とConegliano Valdobbiadeneの訴求を続ける後押しになると語った。

これらのメダルは2025年ヴィンテージのワインに授与された。スパークリングワインの取引では、この点が重要となる。というのも、評価対象のボトルは現在まさに商流に入っている、または商流を流通中のものだからだ。Prosecco Superiore DOCGのようなカテゴリーでは、生産者は販促資料や販売資料にコンペティションの結果やガイド掲載を用いることが多く、特に海外バイヤーやプレミアム小売アカウントに働きかける際にその傾向が強い。

同社はまた、新たな受賞を、独自の醸造プロトコルであるMetodo Gianfranco Folladorを軸にした、より広範な生産アプローチの一環だとも位置づけた。Folladorによれば、この手法は同社のスパー

クリングワインに繊細さと一貫性を保たせるよう設計されている。同社は、このアプローチが自社ワインを際立たせる理由の一つだと説明したが、この発表では、その方法が地域の他のワイナリーが用いる標準的な生産手法とどう異なるのかについての技術的な詳細は示されなかった。

Doctor Wine’s Essential Guide to Italian Winesは現在第13版だと同社は述べた。このガイドへの掲載はコンペティションのメダルと同じ仕組みではないが、単一のブラインドテイスティングイベントではなく編集上の選定であるため、イタリアワイン業界ではなお重みを持つ。生産者にとって、このようなガイドに掲載されることは、イタリアワイン批評を追う小売業者、ホスピタリティ分野のバイヤー、消費者に対する信頼性を高めることにつながる。

国際コンペティションの結果と国内ガイドでの評価が組み合わさることは、輸出を事業の戦略的な柱だとするFolladorのような生産者にとって、特に重要だ。同社によれば、自社ワインは米国、英国、ドイツ、スイス、スペイン、オランダ、中国、そして中東欧およびアジアの複数国を含む幅広い海外市場で販売されている。

今回の発表は、Conegliano Valdobbiadene地域の生産者が、より広いProseccoの世界の中で差別化をさらに進めようとしている時期に行われた。Valdobbiadene Prosecco Superiore DOCGと表示されたワインは、標準的なProsecco DOCよりも厳密に定義されたアペラシオンに属し、丘陵地のワイナリーは、その違いを強調するために、サイトの特異性、クルー・ボトリング、そして「Rive」のような単一地区表示をしばしば訴求する。CSWWCの結果でFolladorが挙げた2本、Torri di Credazzo CruとNani dei Berti Rive di Col San Martinoは、その戦略に合致する地名由来のアイデンティティを伴って紹介された。

同社の声明では、家族経営の事業にとって2026年はすでに好調な年だと説明したが、売上高、生産量、輸出成長データは明らかにしなかった。また、最新の受賞が販売代理店や輸入パートナーからの受注にすでに影響したかどうかも示さなかった。

明らかなのは、これらのメダルとガイド掲載が、プロデューサーが秋の業務需要や年末需要に備える販売カレンダー上、商業的に重要な時期に外部評価を加えるということだ。Folladorにとって、発表に関連する次の公開上の節目は、10月29日にロンドンで行われるCSWWCの式典であり、同ワイナリーの2本の金メダル受賞ワインが正式に表彰される見込みだ。